

茂原市 地震ハザードマップ

このハザードマップは、茂原市で発生が想定される地震による揺れやすさ、液状化の危険度、さらに地域ごとの建物が全壊する割合の危険度を示しています。地震によるケガや命の危険は、家具の転倒や建物の倒壊によって多く引き起こされます。「もしも地震が発生したら…」を想定し、日ごろから何に気を付けて備えておくべきなのか、どの程度の被害となるのか、発生した時に何をすればよいのかを考えてみましょう。

地震から命を守る5つのポイント!!

- 1 地震災害を知る**
一緒に備えましょう
- 2 自宅を強くする**
- 3 情報を入力する**
- 4 自宅と地域の危険性を知る**
- 5 状況に応じた行動をとる**

茂原市 〒297-8511 千葉県茂原市道表1番地 TEL: 0475-23-2111 (代表)
茂原市ホームページ <https://www.city.mobara.chiba.jp>
発行元: 茂原市役所都市建設部建築課 2021年3月

1. 地震災害を知る

ケガの主な原因は、家具類の転倒・落下・移動

近年発生した地震でケガをした原因を調べると、約30～50%の人が、家具類の転倒・落下・移動によるものでした。

無形地震(高層マンション)	40.0%
無形地震(一般住宅)	29.2%
岩手・宮城内陸地震	44.6%
新潟県中越沖地震	40.7%
能登半島地震	29.4%
福岡県西方沖地震	36.0%
新潟県中越沖地震	41.2%
十勝沖地震	36.3%
宮城県北部地震	49.4%

近年発生した地震における家具類の転倒・落下・移動が原因のけが人の割合
*家具類の転倒・落下・移動防止対策(ハンドブック)消防庁(2020.3)より作成

死亡の主な原因は、建物の倒壊

地震による死亡の原因で最も多いのは、建物の倒壊や、家具の転倒による「窒息・圧死」であり、阪神・淡路大震災では、死者の約80%を占めました。

建物倒壊による頭部損傷、内臓損傷、窒息・外傷性ショック等	83.3%
不詳	3.9%
焼死	12.8%

死者 6,434名
行方不明者 3名
*平成23年(2011年)度版 防災白書(内閣府(2011.3)より作成)

地震の揺れの他、液状化現象にも注意

平成23年(2011年)の東日本大震災で発生した液状化現象では、砂の噴出によるマンホールの浮き上がりや、建物、電柱などの傾斜や沈下、また、水道、電気、ガスといったライフラインが一時ストップする被害が生じました。

2. 自宅を強くする

地震被害の大小は発災前の対策で決まります

建物の倒壊を免れても、転倒した家具や家電の下敷きになる、割れたガラスによりケガをする、熱を発生する家電により火災が発生するといった危険があります。事前対策としてすぐにできる家具や家電の固定、レイアウトの見直しから始めましょう。

自宅でできる防災

- 窓ガラスには、飛散防止フィルムを全面に貼りましょう。
- カーテンは防災加工のものにしましょう。
- ガラスの破片によるケガを防止するため、スリッパなどの室内履きを身近に用意しておきましょう。
- 懐中電灯、ラジオ、非常食、缶などが入った非常持出品を常備しましょう。
- 寝室に倒れる物をおかないようにしましょう。
- 揺れそうなものはひもで固定しましょう。
- タンスなどの背の高い家具はL型金具や支え棒で固定しましょう。
- 扉に留め具をつけましょう。
- テレビの転倒防止には、ストラップ式の留め具や耐震マットなどで固定しましょう。
- 常に水を溜めておきましょう。
- 火元に消火器を設置しましょう。
- 電気復旧時、倒れた電気ストープなどに通電して火災となるのを防ぐため、感震ブレーカーなどを設置しましょう。
- 分電盤タイプ 隠蔽タイプ

自宅の耐震性をチェックしましょう

※1個でも当てはまれば、耐震診断、耐震補強の相談をしましょう。

- 建てたのは昭和56年(1981年)以前である。
- 過去に地震、浸水、火災被害などに見舞われたことがある。
- 壁や基礎にひび割れがある。風で揺れる、傾いているなど老朽化が進んでいる。
- 建物の平面形状が複雑である(壁が少ない、窓や開口部の配置の偏り等)。

耐震診断、耐震補強に関する市の取り組み

木造住宅耐震相談会(無料)
対象 茂原市内にある昭和56年(1981年)以前に建築された木造2階建て以下の一戸建ての住宅の所有者・居住者
内容 個別簡易耐震相談: 木造住宅を対象とした耐震について、相談員が住まいの状況に応じた相談にお答えします。

耐震診断費補助制度
対象 茂原市内にある木造2階建て以下の一戸建ての住宅、昭和56年(1981年)以前に竣工されていること。

耐震改修費等補助制度
対象 耐震診断費補助制度の対象住宅のうち、耐震診断の結果、上部構造評点が1.0未満であること。

危険ブロック塀等改修補助制度
対象 茂原市内にある避難路に面した高さ1.2mを超えるブロック塀等。

3. 情報を入力する

発災時の災害情報は命を守る大切な情報です

災害情報は、市民のみなさんに自動配信などで伝えるプッシュ型の情報と、市民のみなさんがホームページなどにアクセスして、自分から入手するプル型の情報があります。プッシュ型は事前に防災メール等を登録・設定し、プル型は事前に情報の発信元を知っておくことで、いざという時に必要な正しい情報を入力できます。

プッシュ型の情報

茂原市などから市民のみなさんに伝える情報です。

- ラジオ**
手回し式や乾電池式など、電気が止まっても情報を得やすい手段です。
●NHK第1:594kHz ●NHK第2:693kHz ●ニッポン放送:1242kHz ●bayfm:78.0MHz
- 防災行政無線**
茂原市の防災・防犯に関する情報をメールで配信します。【パソコン用】
<http://www.city.mobara.chiba.jp/category/1-5-2-0-0.html>
【スマートフォン用】
<http://www.city.mobara.chiba.jp/m/category/1-5-2-0-0.html>
- エリアメール・緊急速報メール**
気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報など、県や地方公共団体が配信する災害・避難情報を特定のエリアの携帯電話に一斉にお知らせします。登録は不要です。
- もばら安全・安心メール【要事前登録】**
茂原市の防災・防犯に関する情報をメールで配信します。【パソコン用】
<http://www.city.mobara.chiba.jp/0000000943.html>
【スマートフォン用】
<http://www.city.mobara.chiba.jp/m/page/0000000943.html>
- ちば防災メール【要事前登録】**
千葉県の防災情報、気象情報等の情報をメールで配信します。【パソコン用】
<http://chiba.pref.g.go.jp/bossai/>

プル型の情報

市民のみなさんが自分で入手する情報です。

- データ放送(テレビモニターの「dボタン」)**
NHK、千葉テレビなど放送局や津波の高さ、避難所情報、交通・ライフラインなどの情報がご覧いただけます。
- 茂原市防災情報**
茂原市が発信している防災に関する情報をご覧いただけます。
<http://www.city.mobara.chiba.jp/category/1-5-2-0-0.html>
- 茂原市防災気象情報ホームページ**
地震の震度、大きな地震などの情報をご覧いただけます。【パソコン用】
https://mobara-city.bossai.info/ui/diaster_reduction_ref/earthquake/local_map
- 茂原市ホームページ**
そのほか、重要なお知らせは、下記からご覧いただけます。
【パソコン用】<http://www.city.mobara.chiba.jp/>
【携帯用】<http://www.city.mobara.chiba.jp/m/>
- 千葉県防災ポータルサイト**
千葉県内の緊急ニュース、災害情報、天気、地震、交通運行情報等をご覧いただけます。【パソコン用】
<http://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/portal/>
- 気象庁(防災情報)**
国が発信している気象情報等をご覧いただけます。【パソコン用】
<https://www.jma.go.jp/gj/m/jma/menu/menu/fash.html>

わが家の防災メモ

避難場所・避難所 例: ○小学校 ○公民館 ○観音堂 ○宅
家族が離ればなれになったときの集合場所 例: ○神社 ○公園
家族や大事な連絡先 例: 家族や親戚、大切な人の連絡先、学校・職場の連絡先

災害用伝言ダイヤル171

●自分の無事を知らせるために録音する。
●相手の無事を確認するために再生する。

4. 自宅と地域の危険性を知る

ハザードマップを見て、自宅周辺の危険度を確認し、避難ルートをあらかじめ確認しましょう

自宅や学校、職場の周辺は何色?

危険度高: 避難しにくい

危険度6 全壊率 20%以上 30%未満*

危険度5 全壊率 10%以上 20%未満*

危険度4 全壊率 7%以上 10%未満*

危険度3 全壊率 5%以上 7%未満*

危険度2 全壊率 3%以上 5%未満*

危険度1 全壊率 3%未満*

危険度低: 避難しやすい

周辺の建物の多くが全壊し、避難が困難

周辺の建物のいくつかが全壊し、避難に注意が必要

周辺の建物の多くが安全で、避難がスムーズ

※地域内で全壊する建物の割合

パソコン・スマートフォンでハザードマップを確認できます。

茂原市わが街ガイド

裏面の「地域の危険度マップ」を確認できます。
【パソコン・スマホ】
<https://www2.wagmap.jp/mobara/Portal>

<ステップ①> 「わが街ガイド」で危険度を調べてみましょう

【スマホの場合】
1. [防災情報] をタップ。
2. [ご利用上の注意] を確認し、[同意する] をタップ。
3. 地図を表示し、タップ。
4. 右上の「メニュー」をタップ。
5. [L型]表示切替] をタップ。
6. [地域の危険度マップ] をタップ。
※「地域の危険度マップ」以外のマップを表示する場合は、それぞれのマップをオン。
7. 右上の「地図を表示」をタップ。

【パソコンの場合】
1. [防災情報] をクリック。
2. [ご利用上の注意] を確認し、[同意する] をクリック。
3. 地図上で見たい場所をクリック。
4. 左上の「表示切替」の中から「地域の危険度マップ」を選択。

<ステップ②> 「わが街ガイド」で避難ルートを調べてみましょう

【スマホの場合】
1. 地図上で、確認したい位置を表示。
2. 右上のメニューから、経路検索を選択。
3. <出発地・目的地の設定方法について> を確認して「閉じる」をタップ。
4. 自分の居場所をタップし、[ここからのルート] をタップ。
5. 避難所などの目的地をタップし、[ここまでのルート] をタップ。
6. 選択した2地点のルートが表示されます。

【パソコンの場合】
1. 地図上で、確認したい位置を表示。
2. 左上のメニューから「ルート」を選択。
3. 自分の居場所をクリックして、[出発地] を指定。
4. 避難所などの目的地をクリックして、[目的地] を指定。
5. [ルート検索を開始する] をクリックすると、選択した2地点のルートが表示されます。

5. 状況に応じた行動をとる

地震発生時、的確な行動が命を守ります

自分や家族の安全を守るためには、地震が発生しても、あわてず行動できるかが重要です。いざという時にあわてないように、地震発生時の標準的な行動パターンを示しています。

地震発生!!

地震の初動対応
●震が低く
●揺れが弱
●動かない

マンション・ビル
家具などに注意
ブロック塀などに注意
車はあわてず緩やかに減速
避難するときは鍵をつけたまま
逃げ道の確保
協力して救助活動初期消火
移動しやすい服装、徒歩で避難
指定緊急避難場所
指定避難所

ここに示す行動を参考に、どのような行動をとるべきか、覚えておきましょう。

発生時 落ち着いて、自分の身を守る

地震の初動対応(シェイクアウト)

どこにいても、床や机の下に隠れるなど、まずは身を守ることを第一に。

●屋内にいる場合
倒れてくる家具や落下物に注意
机の下に隠れるなど、まずは身を守ることを第一に。

●店やバス、電車内等にいる場合
天井、棚からの落下物に注意
あわてず出口に走り出さない。係員、乗務員の指示に従う。

●屋外にいる場合
建物からの落下物などに注意
窓ガラスや看板、ブロック塀、電線、自動販売機など、転倒・落下のおそれがあるものから離れる。

●自動車運転中の場合
あわてず緩やかに減速
急ハンドルや急ブレーキをかけず、ハザードランプを点灯して、周りの車に注意を促し、道路の左側に停車する。

発生直後 余震に注意して行動

足元に注意

室内でも、ガラスの破片などでケガをしないようにスリッパなどを履く。

火元を確認、ガスの元栓を閉め、ブレーカーを落とす

揺れが収まったら、コンロの火を消し、ガスの元栓を閉める。避難する前には、電気のブレーカーを落とす。無理はしない。

ドアや窓を開けて逃げ道を確保する

揺れが収まったら、避難ができるようドアや窓を開け、出口を確保する。

情報を入手する

噂やデマに惑わされず、テレビ・ラジオなどで正しい情報を入手する。

避難時 わが家、ご近所の安全確認

家族の安全、ご近所の安全確認

一人暮らしの高齢者、障がい者などの要配慮者のいる家には積極的に声をかけて安全を確認する。

救出活動・救助活動、初期消火

出来るだけ複数で協力して救助活動を行う。火災になった場合は、周りに大きな声で助けを求めるとともに、手元にある消火器などで初期消火を行う。

避難開始

避難する時に車を使うと、渋滞を引き起こし、消防・救急活動などに支障をきたすため、原則として徒歩で避難する。

非常持出品は歩きやすいよう背負える範囲のものにとどめ、服装は活動しやすいものにする。

一人暮らしの高齢者、障がい者などの要配慮者には、積極的に避難支援を行う。

非常持出品 | 避難所に行く場合

- 貴重品
 - 身分証明書
 - 健康保険証
 - 印鑑
 - 現金(小銭を含む)
- 医薬品類
 - 常備薬
 - おくすり手帳
 - 体温計
 - マスク
- その他
 - 手拭
 - ティッシュ
 - タオル
 - ウェットティッシュ
 - スリッパ
 - 雨具、防寒着
 - 筆記用具
 - 下着・上履などの替替え
 - 各種ハザードマップ
 - レジャーシート
 - 生理用品
- 小物道具類
 - 懐中電灯
 - ラジオ
 - 電池
 - 携帯電話、充電器
 - 水、食料など
 - 飲料水
 - 非常食

非常備用品 | 自宅に残る場合

非常備用品は、災害直後から混乱が収まるまでに必要なものとする。最低3日間分、できれば1週間分の備蓄をしておきましょう。

- 飲料水、生活用水
- 非常用給水袋
- 非常食(アルファ米、レトルト食品など)
- 携帯コンロ、ガスボンベ
- ラップ、アルミホイル
- 衛生用品
- 雨具
- 使い捨てカイロ
- 予備電池

ローリングストック法!
「非常時には、非常食を食べてはいけないか?」非常時に食べるものは、信託やカプラー、スリット食品などの「日常食べているもの」で済みます。「日常食べているもの」を普段から少し多く買い置きし、減った分をまた買い足すことで、特別な準備や出張を必要としないことができます。